

6月 ようちえんだより

幼保連携型認定こども園
西神戸 YMCA 幼稚園

爽やかな風が吹く5月を過ぎ、暦の上では梅雨を迎える季節「6月」となりました。気象庁の予報用語では、「春」を3月～5月。「夏」を6月～8月。「秋」を9月～11月。「冬」を12月～2月としているそうです。しかし年々、春と秋が短くなり、夏が猛暑となり残暑も厳しく温暖化が進んでいることを感じます。また季節に関わらず寒い日があるかと思えば、暑い日があり不安定な気候を感じます。激しい雨風の台風1号も吹き荒れました。6月1日から「衣替え」ですが、まだまだ肌寒く感じる日もあり健康管理が難しい昨今です。ご自愛ください。

さて、季節の移り変わりに敏感なのは自然物です。神様がお創りくださった自然物は、気温や湿度や気圧や明度など様々な環境の条件で生まれ、育ち、最盛期・活動期を迎えます。そのタイミングに嘘、偽りはありません。

子どもたちを見ているとまさに「自然」そのものです。すなわち敏感です。暑ければ水を求め、風が吹けば駆け出し、雨が降れば心身が鎮まり、音が響けば歌い出し、高い所には上り、ぶら下がる子どもたちです。この幼児期は特にこのような子どもたちの本能のままの、自然で、ありのままの姿を大切にしたいと願っています。その為、幼稚園では子どもたちが思いのままに過ごし、心満たされ、愛を感じ、笑顔溢れる生活を送ることを大切にしています。この満足感、充足感こそが生きる力となると信じています。特に1学期は好きなことを存分に経験して安心感、安全、信頼感を感じて欲しいと願っています。この先苦手なことにも「やってみよう!」とチャレンジしたり、新しいことにトライできるように、愛溢れる安心な生活を積み重ね、けっして急がずにしっかりと「待つ」時期も大切にしています。

この時期に参観が行われていますが、子どもたちの姿は様々です。多くの保護者が来られ嬉しくてワクワクする子どももいますが、その反対にドキドキしている子どももいます。子どもたちは得意な活動、好きな活動には積極的ですが、不得意な活動、苦手な活動には消極的な姿もあります。保護者の方が来られて“いつもと違う環境”が苦手な子どももいます。これも自然なありのままの姿です。その時の空気感にも敏感に反応する子どもたちの“ありのままの姿”をしっかりと受け止めてください。そろりそろりと周りを見て「動き出す」子どもたちです。

お家ではお母さん、お父さんの温かい愛で包み込み、たくさん抱きしめてあげてください。

【年主題】

『さあ、漕ぎ出そう 奏でよう』

【年主題聖句】

「わたしは道であり、真理であり、命である。」（ヨハネによる福音書 14 章 6 節）

6月主題 「動き出す」

聖 句 「見よ、それは極めて良かった。」（創世記 1 章 31 節）